



## 受賞作品

<p>第10回 山田風太郎賞 『欺す衆生』 月村 了衛 // 著 (F ツキ)</p>	<p>戦後詐欺の全ての源流とされる横田商事事件。末端の営業マンだった隠岐は&lt;ビジネス&gt;を再興し、詐欺の快楽に取り憑かれていく。やがてそれは国家を欺く一大事業へと発展し…。</p>
<p>第73回 毎日出版文化賞 文学・芸術部門 『夏物語』 川上 未映子 // 著 (F カワ)</p>	<p>パートナーなしの妊娠・出産を目指す夏子。彼女のまえに、精子提供で生まれ「父の顔」を知らない潤が現れ…。芥川賞受賞作「乳と卵」の登場人物たちが新たに織りなす物語。</p>
<p>第73回 毎日出版文化賞 企画部門 『シリーズケアをひらく』 医学書院 ・「リハビリの夜」 熊谷 晋一郎 // 著 (493 ク) ・「逝かない身体 ALS的日常を生きる」 川口 有美子 // 著 (493 カ)</p>	<p>・まなざされ、見捨てられた私のカラダを拾ってくれたのは、夜の闇と冷たい床、そして敗北の官能だった…。脳性まひ当事者にして現役の小児科医である著者が、みずからのリハビリ体験を全身で語り尽くす。 ・「辛い?」「苦しい?」が繰り返されるなかでの、さまざまな工夫や智恵。そこにたしかに存在する希望…。ALSの母が重力に抗して生きた12年を身体ごと支えた記録。</p>
<p>第73回 毎日出版文化賞 特別賞 Yahoo!JAPANニュース本屋大賞 ノンフィクション本大賞2019 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 ブレディ みかこ // 著 (376 ブ)</p>	<p>優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の「ぼく」と著者である母は、ともに考え悩み乗り越え…。</p>

## ドラマ化作品

<p>教場 出演: 木村拓哉, 工藤阿須加 ほか 『教場』シリーズ 長岡 弘樹 // 著 (F ナガ 0,1,2)</p>	<p>「君には、警察学校を辞めてもらう」この教官に睨まれたら終わりだ。全部見抜かれる。誰も逃げられない。何もかもが新しい“警察学校”小説。</p>
---	---

## 映画化作品

<p>屍人荘の殺人 出演: 神木隆之介, 浜辺美波 ほか 『屍人荘の殺人』 今村 昌弘 // 著 (F イマ)</p>	<p>神紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と明智恭介は、日くつきの映画研究部の夏合宿に加わるため、紫湛荘を訪ねた。その夜、想像しえない事態に遭遇し紫湛荘に立て籠もった彼らだが、翌日部員の1人が密室で死体となって発見され…。</p>
<p>ぼくらの7日間戦争 声の出演: 北村匠海, 芳根京子 ほか 『劇場版アニメ ぼくらの7日間戦争』 宗田 理 // 原作 (YF イズ)</p>	<p>ずっと想いをよせる綾が急に引っ越してしまう。高2の守は仲間と綾の誕生日まで、バースデーキャンプを決行することに。ところが、事件に巻きこまれ大人と戦争することになって…。</p>

